

円山動物園「わくわくアジアゾーン」のオープンについて

札幌市円山動物園では、平成 24 年 12 月 12 日に、新施設「わくわくアジアゾーン」をオープンします。

この施設は、世界の陸地面積のおよそ 3 分の 1 を占めるアジアの地理や気候の違いによる多種多様な環境とともに、希少種の保存や生息域保全の大切さを伝えることを目的とした施設です。「寒帯館」「高山館」「熱帯雨林館」の 3 棟で構成され、新たに導入する 5 種を含めた 13 種の動物を展示します。

展示方法は、動物が生息している自然環境をできるだけ再現し、動物本来の行動を引き出すとともに、動物と観客のいる場所が一体となって感じられる「生息環境展示」を採用しています。屋内の観覧スペースを広く設け、屋内からも屋外放飼場にいる動物を観覧できるようにするなど、季節や天候にかかわらずゆっくりと観覧を楽しめる施設です。

円山動物園では、展示エリアごとに伝えるべきメッセージを設けるゾーニング化を進めることとし、北海道・北方圏ゾーン（エゾシカ・オオカミ舎、エゾヒグマ館）、野生復帰・自然体験ゾーン（猛禽類野生復帰施設、動物園の森）は虫類・両生類館などの充実を進めてきました。アジアゾーンはこれらに続く展示充実であり、今後はアフリカゾーンに着手する予定です。

1 概要

(1) オープン日

平成 24 年 12 月 12 日（水）

(2) 総工費等

1,282,300 千円、敷地面積約 10,000 m²

(3) ネーミングライツについて

愛称：わくわくアジアゾーン

協賛企業：株式会社わくわくホリデー

契約期間：平成 24 年 12 月 12 日から平成 27 年 12 月 11 日まで

(4) 建物および展示動物

合計延床面積：1,877 m² 合計展示動物：13 種

(5) 寒帯館

延床面積：540 m²（RC 平屋建）

展示動物：2 種（アムールトラ、ユキヒョウ）

見どころ：

シベリアのタイガの森に生息するアムールトラの展示では、雪の中や木々の間を悠々と歩く姿を、室内からゆっくりと観覧できます。

暑い夏には、木陰で寝転んだり、水浴びする様子を間近で観察できます。

ヒマラヤ山脈など山岳地帯に生息するユキヒョウの展示では、高い岩場を再現しています。ユキヒョウが岩場に勢いよく駆け上がる様子を観覧できます。

また、屋外の放飼場には、ユキヒョウの体を下から檻越しにのぞけるスポットがあります。

新エネルギー：

屋上に 10kw の発電能力を有する太陽光発電設備を設置し、館内の電力を賄います。余剰電力が生じた場合には隣接する施設へも給電します。

(6) 高山館

延床面積：393 m² (RC 平屋建)

展示動物：2 種 (ヒマラヤグマ、レッサーパンダ)

見どころ：

イランやネパール、中国などに生息するヒマラヤグマが、高い丘に登ったり、木登りをしたりする様子を観覧できます。暑い夏には、水遊びをする水中の様子をガラス断面から間近で見ることができます。

中国四川省などに生息するレッサーパンダが、屋外のハルニレの大木や吊り橋の上に登る様子を観覧できます。また、屋内展示場では、来園者の頭上に設けられた「渡り木」の上をレッサーパンダが行き来する様子や、一部、ガラス面の上を歩く様子を下から観察できます。

新エネルギー：

ヒマラヤグマの屋外放飼場裏手に雪の貯蔵場所を設け、その融雪水を使い、レッサーパンダの屋内エリアを冷房する雪冷熱システムを設置します。また、このシステムによる冷風を体感できる吹き出し口も備え付けます。

(7) 熱帯雨林館

延床面積：944 m² (RC 平屋建)

展示動物：9 種 (マレーグマ、シシオザル、クロザル、テナガザル、
カンムリシロムク、コツメカワウソ、アジアアロワナ、
インドオオコウモリ、マレーバク)

下線が引いてある 5 種は、新たに導入する動物です。

見どころ：

熱帯雨林の哺乳類、鳥類、魚類といった多様な動物を展示します。屋内展示場は、熱帯雨林の雰囲気の中を探索しながら、動物たちの声・ざわめきなどを感じることができる展示となっています。また、各所に隠された動物たちの足跡やふん、木の実などのレプリカを探しながら館内を回ることができます。

暖かい季節には、屋外展示場にて、テナガザルが長い手を使い、池に囲まれた島まで木々の間を抜けて移動する様子や、マレーバクの木登りや池での水浴びの様子を同時に眺めることができます。

新エネルギー：

環境に優しい、木質バイオマスを使ったペレットボイラーを設置しています。このボイラーで作られる温水を館内の暖房に活用します。

2 報道機関向け内覧会

12月7日(金) 10:00~12:00

取材される場合は、午前10時までに西門アジアゾーン付近にお集まりください。

今回は、実際に動物が展示された、オープン時と同様の状態でご覧いただくことができます。

3 オープニングセレモニー

12月12日(水) 10:00~

詳細が決まり次第、あらためてお知らせします。

4 年始の営業について

平成25年1月1日から3日までの3日間は、入園が無料。

また、各日先着1,000人に来年の干支のへびの抜け殻(3センチほどに切って加工したもの。金運を呼ぶ縁起物。)を、先着100人に木から「落ちない」レッサーパンダのふんと牛乳パックで作った合格祈願のしおりを、さらに先着300人にホットドリンクを無料配布します。

問い合わせ先

環境局円山動物園経営管理課 岡本・亀井・影山

電話：621-1426

アジアゾーン見取り図

高山館

寒帯館

は虫類両生類館

雪冷熱施設

太陽光発電 (屋上)

管理用門

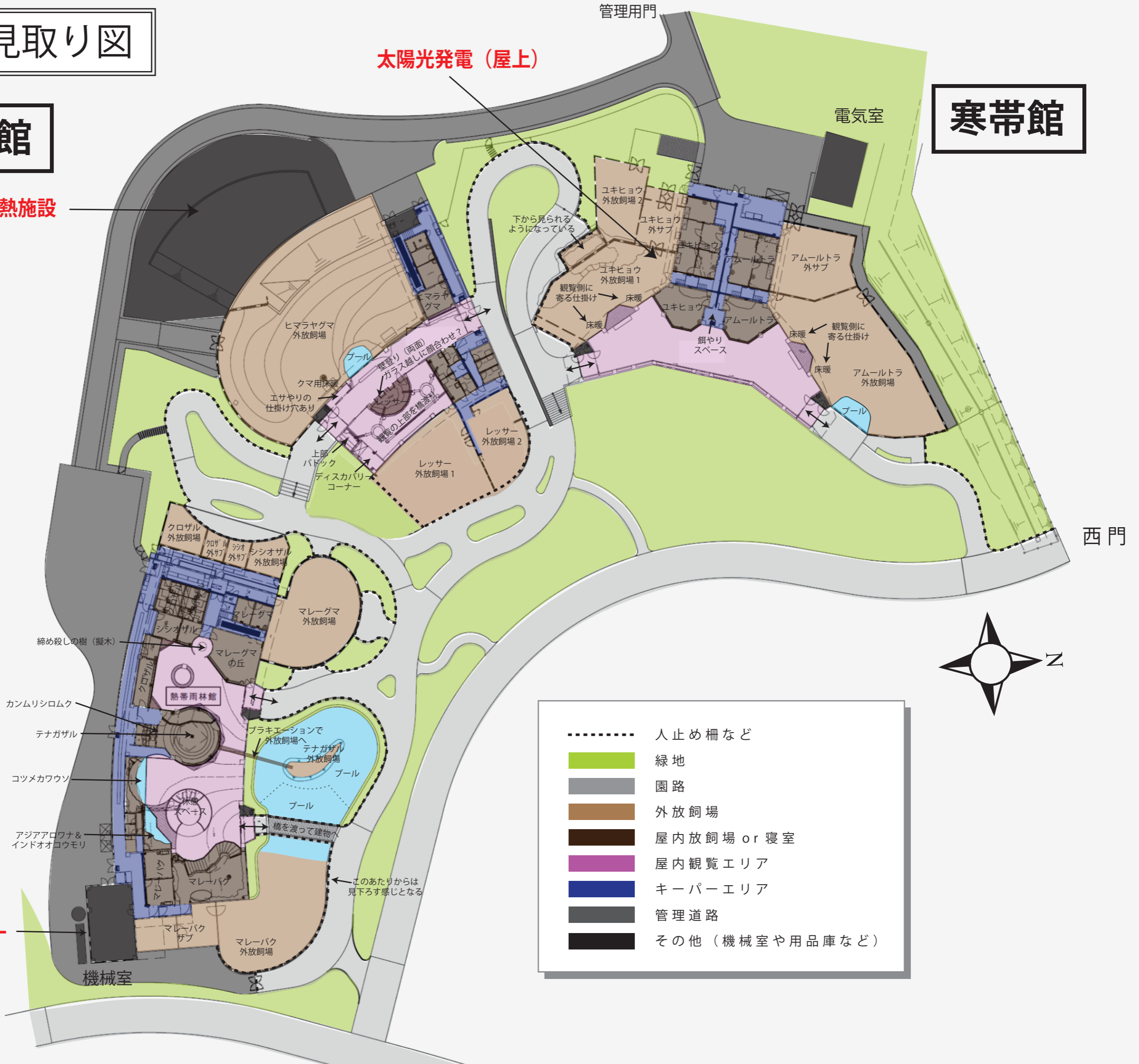
電気室

西門

熱帯雨林館

ペレットボイラー

機械室



- 人止め柵など
- 緑地
- 園路
- 外放飼場
- 屋内放飼場 or 寝室
- 屋内観覧エリア
- キーパーエリア
- 管理道路
- その他 (機械室や用品庫など)